

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年4月16日（火）

2 確認箇所

遠隔操作室

3 確認項目

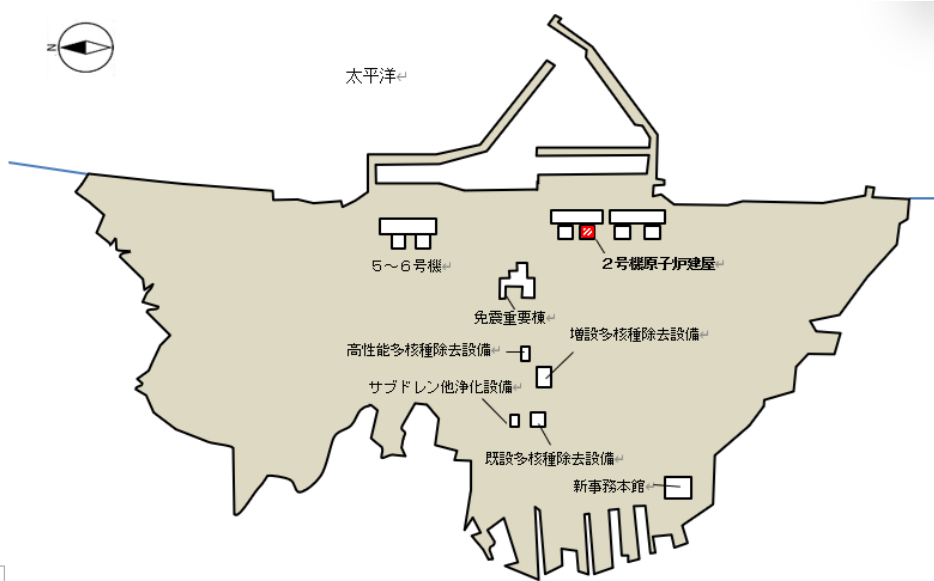
2号機原子炉建屋オペレーティングフロア遮へい設置の状況

4 確認結果の概要

東日本大震災の際、2号機原子炉建屋は水素爆発を免れており、東京電力は、原子炉建屋の上部を撤去せず、原子炉建屋南側に構台を設置、燃料取扱設備等を新しく設置して、使用済燃料プールから燃料を取り出すこととしており、令和6年度（2024年度）～令和8年度（2026年度）の燃料取り出し開始を目指している。

その準備作業として2号機原子炉建屋オペレーティングフロアで既設設備の撤去や線量低減作業が行われた。本日は、遠隔操作室にて、それらの作業の実施状況について確認した。（図1）

- ・2号機原子炉建屋では、除染後の遮へい設置作業が行われ、令和6年4月2日までに遮へいの設置作業が終了した。
- ・原子炉建屋内の線量が高いことから、遮へい設置作業は遠隔重機を使用し行われ、オペレーターが遠隔操作室に設置されたディスプレイに映し出された現場の状況を確認しながら遠隔作業により作業が行われた。
- ・今後、原子炉建屋南側に開口部を設け、原子炉建屋オペレーティングフロア内に燃料取扱設備を設置する作業が予定されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。